

N2a 細胞

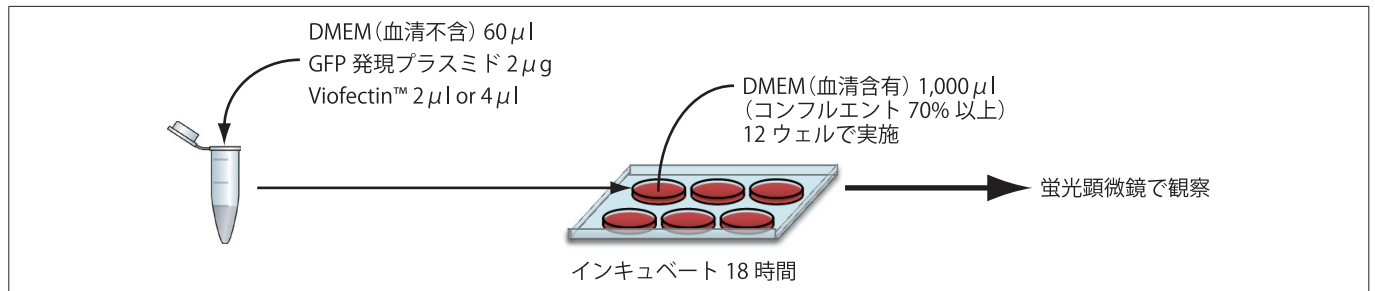
データご提供：長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 生命薬科学専攻 分子創薬科学講座 城谷 圭朗 准教授

使用製品：Viofectin™ Transfection Reagent

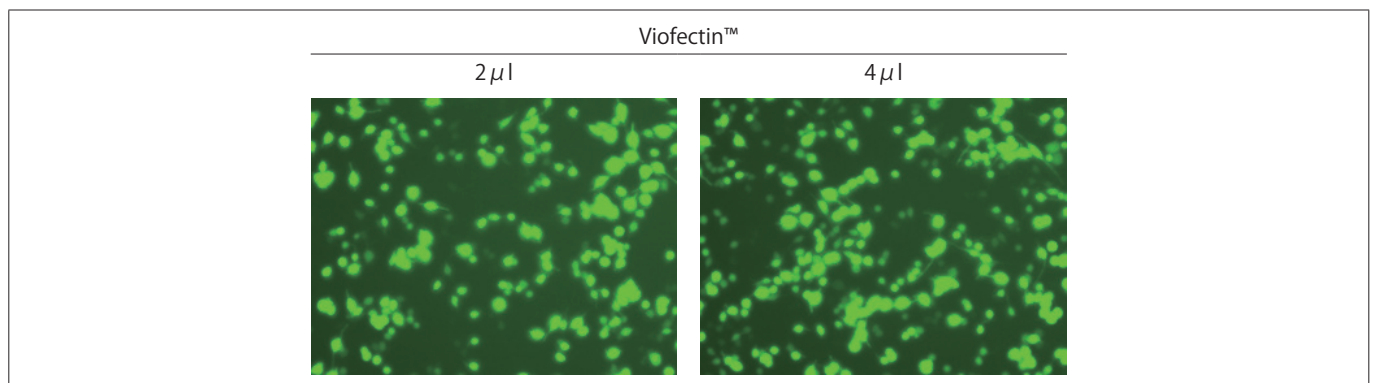
評価方法：蛍光顕微鏡観察

■ 実験概要

Viogene 社トランスフェクション試薬 Viofectin™ の性能を評価するために、N2a 細胞に GFP 発現プラスミドを導入し、蛍光顕微鏡によりトランスフェクション効率を確認した。



■ 実験結果



■ 使用者の評価

蛍光顕微鏡で観察した結果、Viofectin™ による導入効率は、いずれも高い導入効率を示した。また、観察からは細胞毒性は見られなかった。以上のことから、Viofectin™ は、コストパフォーマンスに優れる試薬であることが示された。